

オペラ『Super Angels』新シリーズ制作及び海外展開に向けた領域横断型人材育成 (実施団体:アタック・トーキョー株式会社)

目的・目標

2021年に日本博、新国立劇場で制作されたオペラ作品「Super Angels」の新シリーズを海外の潜在層に向けて新制作、様々な分野の芸術と国内外の人材を横断的に結びつけ、人材育成と海外展開における新しいフォーマットを確立する。AIを用いた先進的な芸術表現と障害を持つ人々が持つ類稀な表現力を融合し、将来性が見込まれるこの新領域を今日本が取り組むことによって世界に対するインパクトを最大化する。

概要

本作は渋谷慶一郎作曲によって初演、出演者に障害と共に生きる子どもたちも参加、テクノロジーと人間の共生未来を示す新しいコンセプトのオペラ。芸術創作から海外展開に至るまでに役割ごとに育成対象分野を設け、最適な人材育成のフォーマットを確立、新領域での継続的な人材育成を促す。横断的な才能や技量をもつ若手クリエイターは指導者と一緒に「分野横断的新領域アーティストチーム」を編成し、創作を行う。

3年目までの取組

仏現地のプロデューサーとプロジェクトチームを既に結成。1年目は劇場、連携団体、ヨーロッパの演出家候補や出演者との協議・交渉を行い中核となるアーティストックチームを編成。国内では7-9月で追加育成対象者を決定、育成基盤を整備する。2年目は創作と並行し人材育成や新領域における制作に関するシンポジウム（仏・日）を10月、11月計二回実施。3年目にはプロトタイプ版の初演をパリで実施、現地ネットワークを活用した広報宣伝活動を行い、5年目の海外展開の足がかりとする。終了後に公演及び人材育成に関する成果報告を予定。



2024/6/18 ANDROID OPERA TOKYO ©ATAK ※イメージ

5年目までの取組

4年目からヨーロッパのフェスティバル等で巡回。翌年アメリカ・ロサンゼルスでの完成版を目指し、作品の改訂や規模拡大といったブラッシュアップを行う。現地でのネットワークを構築しながら、本活動の普及及び若手育成を目的としたシンポジウムを日本とロサンゼルスで行う。5年目に現地の劇場や出演者、オーケストラと連携しロサンゼルス公演を行う。広報宣伝の機会を最大化、終了後の人材及び作品の海外展開における成果報告を業界関係者・若手クリエイター向けの教材としても一般公開する。

(分野・ジャンル)

分野横断的新領域

(渡航先の国・地域)

パリ（フランス）（2026年）

(国内外の連携・協力体制)

ユニバーサルミュージックフランス、フィンコ財団、他在パリ劇場等

成果目標（見込）

目標値

企画段階から海外公演等までに登用される若手クリエイター等の数	14人
国内外の団体・企業等との連携数（連携団体数、事業提携数、拠点形成数など）	21件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	17人
国内外で展開される公演・展示等の数	プロトタイプ版初演 1回 シンポジウム パリ・東京 各1回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	プロトタイプ版 初演/公開制作 3,000人 シンポジウム350人 (パリ100人/東京250人)

中核となるクリエイターやアドバイザー

渋谷慶一郎

音楽家。1973年生東京藝術大学作曲科卒業。2002年に音楽レーベル「ATAK」を設立（現アタック・トーキョー株式会社）。作品は先鋭的な電子音楽からピアノソ、オペラ、映画音楽、サウンドインスタレーションまで多岐にわたり、東京・パリを拠点に活動。テクノロジー、生と死の境界領域を作品を通して問いかけている。



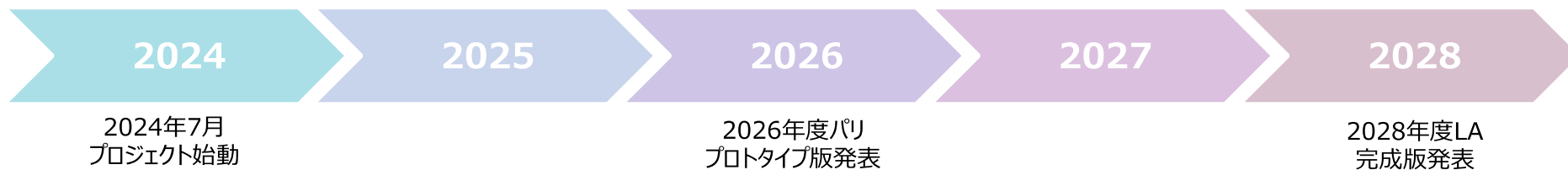
育成対象者：14人

育成対象分野

- ・分野横断的新領域アーティストチーム（音楽・美術・AIを中心）
- ・プロデューサー、マネージャー、コーディネーター人材
- ・広報宣伝人材
- ・舞台スタッフ人材
- ・通訳、翻訳家人材

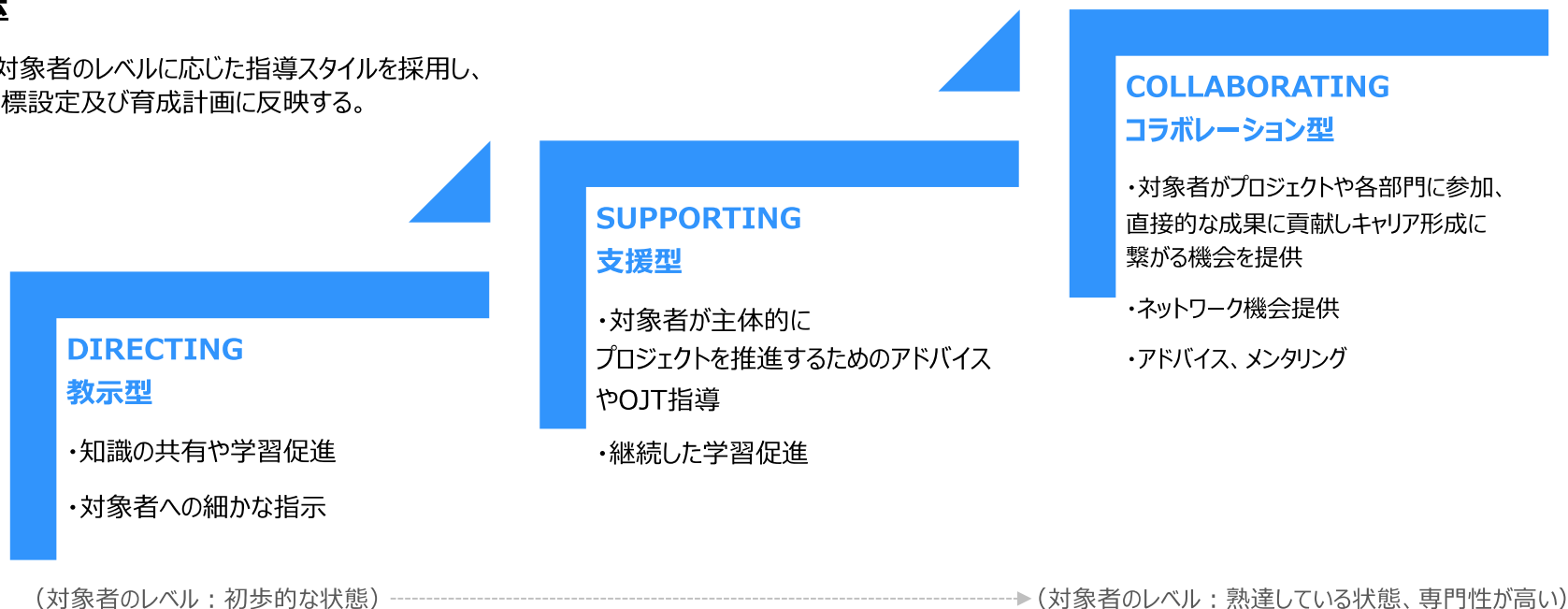
【補足資料】

スケジュール



育成方法

育成者は、対象者のレベルに応じた指導スタイルを採用し、対象者の目標設定及び育成計画に反映する。



育成リソース

